



浪白男女娘天弁

The Maiden Benten and the Bandists of the White Waves

6月2日 (日)

13:00~

会場：相生座



ハワイ大学里帰り公演

ハワイ大学と美濃歌舞伎・相生座

ハワイ大学の歌舞伎と美濃歌舞伎・相生座との出会いは約30年前になります。当時、国際ボンタという組織の女性会議がハワイで開催された折に、名古屋クラブのメンバーとして参加した私は、オプションルツアーのハワイ大学歌舞伎公演を観に行きました。

ハワイで開催された英語の歌舞伎公演に大変感動した私は、終演後すぐに指導者を尋ねました。それがジェームス・ブランドン教授だったのです。以来折に触れブランドン教授と親交を深めてゆく中で、「ホノルル美術館での歌舞伎衣装展」や「ハワイ大学の歌舞伎の日本公演」など、夢を語り合い準備を進めていました。しかし、教授が病に倒れ、2015年ついに帰らぬ人となってしまいました。もう私の夢は実現しないと思っていたのですが、2016年思わぬ奇跡が起こったのです。安田文吉教授のお誘いで、ホノルル美術館のお仕事にハワイを訪れた私のところに、ジュリー・イエッツイー教授が尋ねてこられたのです。それからは、行動力のあるイエッツイー教授とお話が弾み、里帰り公演プロジェクトが進み始めました。途中コロナ禍のために延期にはなったものの、ハワイ大学歌舞伎100周年に当たる年に開催できることは、何よりも記念すべきことです。

明治期ハワイへ移民した日本人たちによって歌舞伎が浸透し、芝居小屋も建てられ度々上演されました。1924年には日系の大学生によって英語の歌舞伎が演じられ、以後、ハワイ大学の演劇教育として取り入れられるようになったのです。現在では、ハワイ大学はアジアの演劇の研究大学としても先駆的な成果を上げているのです。

日本で生まれた歌舞伎が遠くハワイの地で根付き、育てられ花を咲かせていることは、何よりの文化交流でしょう。今年は岐阜県主催の国民文化祭にも華をそえる良い機会ともなりました。今日はゆっくりとハワイの歌舞伎をお楽しみいただければ幸いです。

美濃歌舞伎・相生座 小栗幸江